

LPIS 自動式低圧樹脂注入工法

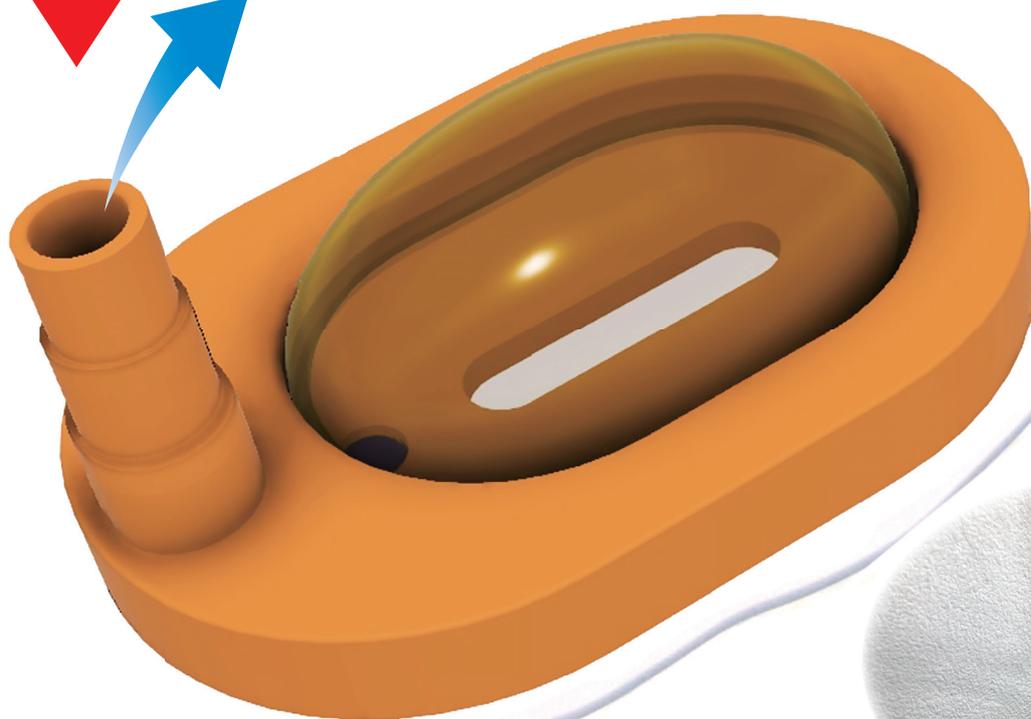
エアロプレート工法[®]

コンクリート構造物のひび割れ補修工法

新機構

注入口の段差により
樹脂残量の確認が可能です

< 実用新案登録第3216439号 >



エアロプレート工法とは

コンクリートのひび割れ補修に、Uカットシールに代わる簡便な自動式低圧樹脂注入工法を提供します。下地コンクリートを痛めず、施工が容易で経済的です。

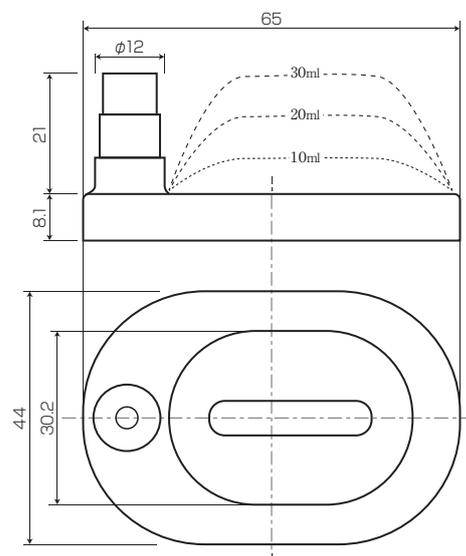
【特徴】

- ☑ 毛細ひび割れまで注入できる
- ☑ 壁や床からの出寸法が小さく、ゴンドラ作業も容易
- ☑ 長穴型の吐出口でひび割れに沿って注入可能
- ☑ シールが簡単で樹脂漏れが少ない
- ☑ 高い施工効率と経済性

【用途】

- ☑ RC外壁の注入工事
- ☑ 屋上防水の注入工事
- ☑ 床版ひび割れの補修工事
- ☑ 鉄筋のサビに起因するひび割れの補修工事
- ☑ コンクリートの沈降ひび割れの補修工事

【寸法図】



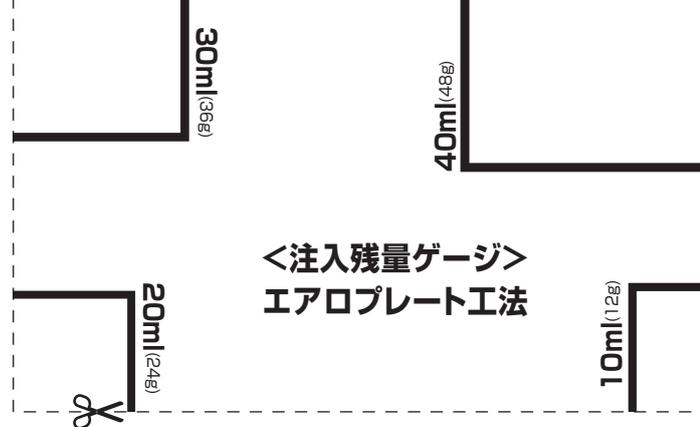
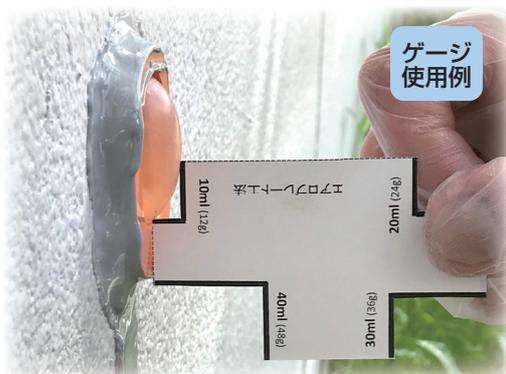
新機構

<実用新案登録第3216439号>

【注入口残量目盛り】

注入口の段差とシリコンゴムのふくらみを比べることで、樹脂残量の大きな確認が可能です。

1番下の段差が10ml、中間が20ml、上端が30mlの目安となります。



<注入残量ゲージ>
エアロプレート工法

注入残量ゲージもご用意しております。
必要に応じて切り取ってご使用ください。

● ひび割れ補修施工手順

1. 事前調査

ひび割れの位置、幅、深さを確認する

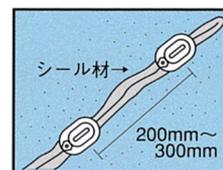


2. 下地処理

ひび割れの部分とエアロプレート取り付け部を清掃する。

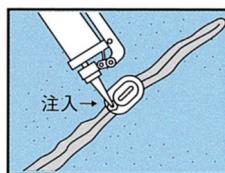
3. エアロプレート貼付け及びひび割れ目止め

200mm~300mm間隔にパテシールを塗付けたエアロプレートを貼付け、ひび割れ表面とプレートの周りを目止めする。



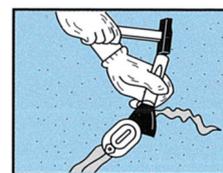
4. 注入剤充填

混合した注入剤をグリッパ等へ充填し、プレートの注入口より注入する。



5. シール材撤去及び仕上げ

注入剤が硬化後、プレートを皮すきやサンダー等で除去し、表面を仕上げる



● 使用材料

	製品名	工法材料名	荷姿
注入器具	エアロプレート	自動低圧樹脂注入工法	50ケ/小箱
			300ケ/大箱
注入材	エポキシ樹脂	低粘度エポキシ樹脂 (JIS A 6024適合品)	市販品
		低揺変性エポキシ樹脂 (JIS A 6024適合品)	
シール材	目止め用シール材	特殊ゴム性剥離シール	
	プレート接着用パテシール材	速硬2液エポキシ樹脂接着剤	



RENOTEC
株式会社リノテック

〒464-0003 名古屋市千種区新西2-3-6
TEL.052-774-6621 FAX.052-774-6627
<https://www.renotec.co.jp>



施工店

2018042000